

「鳥取県人口ビジョン（案）」、「鳥取県元気づくり総合戦略（案）」への意見の反映状況

平成27年9月11日

とっとり元気戦略課

1 パブリックコメントの実施状況

実施期間：平成27年8月11日（火）～26日（水）

意見の件数：68件・23人

2 主な意見と反映状況

分野・頁	意見の要旨	対応
全体・前文 P2～5	鳥取県の魅力をストレートに伝えるキャッチフレーズによるアピール、人口減少時代を明るく生き抜く鳥取県をつくるといった『とっとり元気ビジョン』の提示があるとよい。	本県の強みである「豊かな自然」「人々の絆」「鳥取の時」を柱に、「響かせようトットリズム」をキャッチフレーズとした強みを活かした施策の実施を通じ、「住んで、訪れてよかったと誇れる鳥取県」を目指し、住み慣れた地域で安心して暮らし続け、将来にわたって発展していく活力ある鳥取県をつくる総合戦略内容としている。
1-(2) 農林水産業 P20	県内は70%が森林であり、IJU ターンで女性の方にも森林に入ってもらい、第一次産業を女性の力で活性化してほしい。	若者や女性、IJU ターン希望者等の林業・木材産業への就業を促進する旨を記載。
1-(2) 農林水産業 P20、P22	農業でも特産物を生産してくれる若者や後継者を育成していくことも重要。漁業就業者も増加していくこと。間伐もしっかりしていくことが国土保全になる。	農業・林業・水産業の新規就業者の育成をはじめ、林業・木材産業の成長産業化について記載。
2-(1)出合い・子育て P36	各保育所に看護師を配置し、病後児保育室を設けて預けられるようにしてはどうか。	病児・病後児保育などの拡充について必要な支援を行うことを記載。
2-(1)出合い・子育て P38	核家族では子育ては大変なので祖父母も手伝う体制を取る、地域での見守り活動をどうしてやっていくかが課題。	地域での子育て支援を担う貴重な人材である祖父母世代による育児支援について記載。
2-(2)人財 とっとり P41	子供が本県に郷土愛を持って住んでもらえる教育が必要。	「ふるさと鳥取」に愛着と誇りをもった人材育成に取り組む旨を記載。
2-(3) 支え愛 P54	鉄道とのダイヤ調整でバスの便数を増やしてもらいたい。交通弱者のことも考えないと子育てはできない。	地域のニーズに則した多様な交通サービス（幹線・支線のバス路線の再編、循環型バス、デマンド型バス（予約型乗合バス）、乗合タクシーの導入等）の展開について記載。
3-(1) 移住・定住 P56、P58	若者の移住促進や、県内出身者のUターン策（県内に戻ってきたら償還が一部免除される奨学金制度の創設）なども追記してはどうか。	若い世代をターゲットに豊かな自然環境をはじめとする‘心の贅沢’に裏打ちされた「とっとり暮らし」の魅力発信、県内に就職する大学生等が借り入れた奨学金の返還支援による若者の地元就職、IJU ターン促進の取組について記載。
3-(2) 働く場 P67	ワーク・ライフ・バランスの推進や男性が育児休業しやすい方策をより明記されれば良い。男性の育児休業取得実績の積み上げとともに、行政として男性の育児休業の促進を図っていくと良い。	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への理解を進め、男性が育児休暇を取りやすい機運を醸成し、男性の育児休業取得への理解促進と意識改革促進について記載。
全体	専門的な用語やカタカナが多く分かりにくい。注釈を入れるべき。	一般的ではないカタカナや英語表記は日本語表記へ修正。 日本語表記とすることに馴染まない表記については、注釈を追加。